

## パートナーイベント

### 京都国際マンガ・アニメフェア2023



会 期：2023年9月16日(土)・17日(日)  
会 場：京都市勧業館みやこめっせ/ロームシアター京都 ほか  
主 催：京都国際マンガ・アニメフェア実行委員会/京都市  
共 催：KYOTO CMEX 実行委員会/京都国際マンガミュージアム/京都コンピュータ学院・京都情報大学院大学  
後 援：経済産業省  
対 象：マンガ・アニメ・ゲームに関する企業・団体など  
公式サイト URL：<https://kyomaf.kyoto/>

総来場者数(参加数)：35,603人(昨年比：110%)  
出展社数：74社(過去最多)  
内 訳：(国内出展社数：72社 海外出展社数：2社)  
プレス社数：38社  
内 訳：(国内プレス社数：34社 海外プレス社数：4社)

#### ■開催内容

京都国際マンガ・アニメフェア(以下、「京まふ」という。)は、マンガ・アニメを活用した新たなビジネスの創出支援、クリエイターの育成支援・雇用機会の創出、若者や外国人をはじめとした新たな観光客の掘り起こし、マンガ・アニメ文化の海外発信によるコンテンツ都市・京都のブランド向上を目的として開催している西日本最大規模のマンガ・アニメ・ゲーム等の総合見本市である。

12回目の今回は、「文化庁移転を契機とした文化と経済の融合の推進」、「コンテンツ創造・クリエイター支援」、「国内外への情報発信・ブランド向上」の3点を重点取組として実施した。

メイン会場では、過去最多の74企業・団体がブース出展し、豪華声優等が出演する25のステージイベントを実施し、総来場者数は35,603人、オンラインでの配信視聴者数は402,693回と多くの方に楽しんでいただいた。

クリエイター支援では、昨年度に引き続いてメインビジュアルの作成に若手クリエイターを起用。京都芸術デザイン専門学校出身のゆうきさん：20歳(当時)が手掛け、各地でのポスター掲出やグッズ化等を行った。

また、マンガ出版社の編集部を京都に招き、マンガ家志望者が自分の作品を持ち込むことができる「マンガ出張編集部@京まふ」は、京まふと時期をずらして11月に京都国際マンガミュージアムで実施し、46編集部、138人に参加いただいた。同じくクリエイター支援を目的とする「京都クリエイティブ企業キャリアフォーラム」(コンテンツ関連企業の合同就職説明会)についても開催時期と場所を変更し、令和6年2月に京都コンピュータ学院京都駅前校で開催し、17企業、282人に参加いただいた。

産業振興の面では、8社と連携し、計296種類のアニメコラボ商品の開発を行った(昨年度：8社144種類)ほか、アニメと異業種のコラボレーションを表彰する「京都アニメものづくりアワード」の開催や、京都アニメものづくりアワード参加企業と京まふ出展企業市内企業及び行政関係者の交流会を実施するなどコンテンツビジネスの活性化にも取り組んだ。

日本のマンガ・アニメ・ゲームといったコンテンツは海外でも人気を集め、インバウンド向けの施策を充実させることが重要となってくる。来年度以降はこれまで以上に国際的な取組を模索し、老若男女、国内外問わず、多くの方々に楽しんでいただけるイベントとしたい。

#### ■2023年度の新規取組みとその成果・特色など

みやこめっせ会場内、京都伝統産業ミュージアムとの連携を強化し、伝統産業とコラボしたカプセルトイの設置や京菓子ワークショップコーナー等を設け、国内外の幅広い世代に向けて京都の伝統産業に触れる機会を創出した。

また、ステージイベントでは和装振興に資する取組を拡大し、登壇する声優等、18名の方に着物を着用いただいた。

その他、クリエイター支援施策として、滞在型ワークショップ「Field KYOTO」を開催し、25名のクリエイターが参加した。妙心寺の宿坊に宿泊し、松竹撮影所での殺陣の体験や伝統産業ミュージアムでの講習等、京都を舞台にした作品制作に資するワークショップを開催した。

#### ■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数や成果

梅小路公園で実施されたアニメサウンドトラックが主役のフェス「京伴祭」と連携し、京まふ共催イベントとした。

